



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アドウェイズ

コード番号 2489 URL <http://www.adways.net/>

代表者 (役職名) 代表取締役

(氏名) 岡村 陽久

問合せ先責任者 (役職名) 管理担当上席執行役員

(氏名) 田中 庸一

TEL 03-5339-7122

四半期報告書提出予定日 平成25年11月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト・報道機関向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	14,490	48.5	303	116.8	256	35.7	243	296.2
25年3月期第2四半期	9,755	10.5	139	△75.2	188	△67.2	61	△82.3

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 336百万円 (36.0%) 25年3月期第2四半期 247百万円 (△25.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	6.73	6.52
25年3月期第2四半期	1.55	1.53

(注) 1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、平成25年10月1日付で当社普通株式1株につき500株の割合をもって株式分割を行ったことをふまえ、前連結会計年度の期首に同株式分割が行われたものと仮定し当該数値を算出しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
26年3月期第2四半期	10,137		5,227		51.0	141.02		
25年3月期	9,024		4,843		53.4	133.87		

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 5,174百万円 25年3月期 4,816百万円

(注) 1株当たり純資産については、平成25年10月1日付で当社普通株式1株につき500株の割合をもって株式分割を行ったことをふまえ、前連結会計年度の期首に同株式分割が行われたものと仮定し当該数値を算出しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、中長期的な企業価値の向上に努め、株主に対する利益還元を行うことを経営の重要な課題の一つと認識しており、財務体質の強化及び将来の事業展開に備えるための内部留保の充実を中心に据えながら、その業績並びに業績の見通しに応じた利益配分に努めることを基本方針としております。現時点での平成26年3月期の配当予想につきましては、経営環境の先行きが不透明であることから未定とさせていただきます。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,500	30.3	600	45.1	550	28.0	400	31.6	10.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

1株当たり当期純利益については、平成25年10月1日付で当社普通株式1株につき500株の割合をもって株式分割を行ったことをふまえ、分割後の株式数を基準として算出しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	40,550,000 株	25年3月期	39,985,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	3,854,000 株	25年3月期	4,009,000 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	36,226,178 株	25年3月期2Q	39,555,470 株

(注) 発行済株式数については、平成25年10月1日付で当社普通株式1株につき500株の割合をもって株式分割を行ったことをふまえ、前連結会計年度の期首に同株式分割が行われたものと仮定し当該数値を算出しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は完了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については添付資料P. 5「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法)

機関投資家・証券アナリスト・報道機関向け決算説明会は、本資料を開示した同日に開催する予定であります。また、決算説明会で配布する資料は、開催日同日に当社ホームページ(<http://ir.adways.net/>)にて開示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日)の当社グループにおける連結業績は以下のとおり、前年同期に対して売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益は増収増益となりました。

[連結業績]

(単位:千円、端数切り捨て)

	前第2四半期 (平成25年3月期)	当第2四半期 (平成26年3月期)	対前年同期増減額 (増減率)
売上高	9,755,418	14,490,928	4,735,509 (48.5%)
営業利益	139,830	303,167	163,336 (116.8%)
経常利益	188,961	256,355	67,393 (35.7%)
四半期純利益	61,502	243,671	182,169 (296.2%)

売上高は、国内の広告事業が順調に推移したことにより、4,735,509千円増加し、14,490,928千円(前年同期比48.5%増)となりました。

営業利益は、当第2四半期連結累計期間の4月に新卒社員が入社したことによる人件費の増加及び本社オフィスの増床に伴う販売管理費及び一般管理費が増加したものの、国内の広告事業が順調に推移したことにより、163,336千円増加し、303,167千円(前年同期比116.8%増)となりました。

経常利益は、円安による為替差損68,371千円の発生等があったものの67,393千円増加し、256,355千円(前年同期比35.7%増)となりました。

四半期純利益は、第2四半期連結累計期間に保有株式の売却により投資有価証券売却益を258,040千円計上したことにより、243,671千円(前年同期比296.2%増)となりました。

[報告セグメント別業績]

①広告事業

(単位:千円、端数切り捨て)

	前第2四半期 (平成25年3月期)	当第2四半期 (平成26年3月期)	対前年同期増減額 (増減率)
売上高	8,222,593	12,543,315	4,320,722 (52.5%)
(外部売上高)	8,204,379	12,500,543	4,296,164 (52.4%)
(セグメント間売上高)	18,213	42,771	24,557 (134.8%)
セグメント利益	689,787	1,280,391	590,603 (85.6%)

内訳:外部売上高(広告事業)

(単位:千円、端数切り捨て)

	前第2四半期 (平成25年3月期)	当第2四半期 (平成26年3月期)	対前年同期増減額 (増減率)
スマートフォン向け広告	1,999,505	5,161,828	3,162,323 (158.2%)
フィーチャーフォン向け広告	3,342,374	1,483,266	△1,859,108 (△55.6%)
モバイル向け広告 計	5,341,879	6,645,095	1,303,215 (24.4%)
PC向け広告	2,862,500	5,855,448	2,992,948 (104.6%)

広告事業は、スマートフォンアプリ向け広告「AppDriver」、携帯電話向けアフィリエイト広告「Smart-C」やPC向けアフィリエイト広告「JANet」を中心に、インターネット上で事業展開を行う企業に対して、インターネッ

ト広告を総合的に提供しております。

当第2四半期連結累計期間における広告事業のモバイル向け広告は、モバイル端末利用者のフィーチャーフォンからスマートフォンへの移行の影響により、広告主のフィーチャーフォン向け広告の出稿意欲は低下しております。一方でスマートフォン向け広告は、広告主の広告出稿意欲が高く、それに加え、アプリなどの広告掲載媒体数が増加していることから売上高が大幅に伸長したことにより、モバイル向け広告の売上高は6,645,095千円（前年同期比24.4%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間における広告事業のPC向け広告は、金融関連企業を中心に取引が拡大したことにより売上高は5,855,448千円（前年同期比104.6%増）となりました。

この結果、広告事業の売上高は12,500,543千円（前年同期比52.4%増）、セグメント利益は1,280,391千円（前年同期比85.6%増）となりました。

②アプリ・メディア事業

（単位：千円、端数切り捨て）

	前第2四半期 (平成25年3月期)	当第2四半期 (平成26年3月期)	対前年同期増減額 (増減率)
売上高	745,865	959,468	213,602 (28.6%)
(外部売上高)	732,330	888,936	156,605 (21.4%)
(セグメント間売上高)	13,534	70,531	56,996 (421.1%)
セグメント利益又は損失(△)	63,212	△220,512	△283,725 (－)

内訳：外部売上高（アプリ・メディア事業）

（単位：千円、端数切り捨て）

	前第2四半期 (平成25年3月期)	当第2四半期 (平成26年3月期)	対前年同期増減額 (増減率)
アプリ事業	485,744	439,941	△45,802 (△9.4%)
メディア事業	246,586	448,994	202,407 (82.1%)

アプリ・メディア事業は、主に連結子会社である愛徳威軟件開発（上海）有限公司と株式会社ラビオンソーシャルにおいてスマートフォンアプリの開発・運営、連結子会社である株式会社サムライ・アドウェイズにおいてメディアの運営等を行っております。

当第2四半期連結累計期間におけるアプリ事業は、平成24年3月期の上半期にリリースした「カイクツクロニクル」、「小悪魔キャバ嬢らいふ」や「煙に巻いたらさようなら。」等の既存のタイトルに続くヒット作を生み出すために自社タイトルのゲーム開発に注力してきました。しかしながら、有力なゲーム会社の参入等により売上高は439,941千円（前年同期比9.4%減）となりました。

今後は、自社タイトルだけでなく、大手ゲーム会社と共同でアプリ制作を行う協業事業や当社が海外の有力アプリの翻訳などを行い、日本国内に日本版の海外の有力アプリをリリースするパブリッシング事業を軸にアプリ事業の売上高安定化を図ります。

当第2四半期連結累計期間におけるメディア事業は、主に株式会社サムライ・アドウェイズにおいて行っているメディア事業において広告主数が増加したことにより、売上高は448,994千円（前年同期比82.1%増）となりました。

この結果、アプリ・メディア事業の売上高は888,936千円（前年同期比21.4%増）となったものの、人件費等の販管費が増加したことにより、セグメント損失は220,512千円（前年同期は63,212千円の利益）となりました。

③海外事業

(単位：千円、端数切り捨て)

	前第2四半期 (平成25年3月期)	当第2四半期 (平成26年3月期)	対前年同期増減額 (増減率)
売上高	822,533	1,182,270	359,737 (43.7%)
(外部売上高)	813,582	1,100,479	286,896 (35.3%)
(セグメント間売上高)	8,950	81,791	72,841 (813.8%)
セグメント損失(△)	△94,219	△113,011	△18,791 (-)

海外事業は、中国・台湾・韓国・米国において、現地企業と各国における外国企業を対象として、インターネットマーケティングの総合支援サービスを提供しております。

当第2四半期連結累計期間における海外事業は、平成24年4月に提供を開始したスマートフォンアプリ向け広告「AppDriver」の中国版「AppDrvier China」の売上高の増加に加え、平成24年10月に設立した韓国子会社において、日系企業への韓国現地における広告出稿の営業を強化したことにより、前年同期比で売上高は増加いたしました。一方、海外赴任者の増加に伴い営業費用が増加したため、セグメント損失は増加しております。

この結果、海外事業の売上高は1,100,479千円(前年同期比35.3%増)、セグメント損失は113,011千円(前年同期は94,219千円の損失)となりました。

④その他

(単位：千円、端数切り捨て)

	前第2四半期 (平成25年3月期)	当第2四半期 (平成26年3月期)	対前年同期増減額 (増減率)
売上高	10,609	10,245	△363 (△3.4%)
(外部売上高)	5,124	968	△4,156 (△81.1%)
(セグメント間売上高)	5,484	9,276	3,792 (69.1%)
セグメント損失(△)	△69,864	△84,535	△14,671 (-)

その他は、日本及び海外における新規事業等により構成されております。

当第2四半期連結累計期間におけるその他は、新規事業の立ち上げが芳しくなく売上高は968千円(前年同期比81.1%減)と減少し、セグメント損失は84,535千円(前年同期は69,864千円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期 (平成25年9月30日)	対前年同期増減額 (増減率)
資産合計	9,024,689	10,137,196	1,112,507 (12.3%)
負債合計	4,180,723	4,909,287	728,563 (17.4%)
純資産合計	4,843,965	5,227,909	383,943 (7.9%)

[資産合計]

- ・流動資産が前連結会計年度末より1,078,593千円増加し8,888,120千円となりました。主な増加要因は現金及び預金が549,741千円増加したこと、及び売掛金が504,173千円増加したことによるものであります。
- ・固定資産が前連結会計年度末より33,914千円増加し1,249,076千円となりました。主な増加要因は無形固定資産その他に含まれるソフトウェアが38,502千円増加したことによるものであります。

[負債合計]

- ・流動負債は前連結会計年度末より719,377千円増加し4,856,737千円となりました。主な増加要因は、支払手形及び買掛金が458,605千円増加したこと、未払法人税等が137,403千円増加したこと及びその他に含まれる前受金が135,513千円増加したことによるものであります。
- ・固定負債は前連結会計年度末より9,186千円増加し52,550千円となりました。主な増加要因は、その他に含まれる資産除去債務が5,887千円増加したことによるものであります。

[純資産合計]

- ・前連結会計年度末より383,943千円増加し5,227,909千円となりました。主な増加要因は、利益剰余金が243,671千円増加したこと及び為替換算調整勘定が164,212千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループが事業展開を行うインターネット・モバイル関連業界は、スマートフォンの急速な普及に伴う市場の拡大やスマートフォン・タブレット端末をはじめとするインターネット利用端末の多様化などを受け、今後も順調に拡大することが予測されております。これらの傾向は国内だけでなく、海外においても顕著であり、中国をはじめとするアジア諸国においてインターネット関連市場は急速に拡大しております。

当社グループは、これらの拡大が見込まれるスマートフォン関連事業及び海外事業に積極的に注力し、当連結会計年度は事業をさらに成長させ、次期以降の収益力の向上をめざしてまいります。

以上より、平成26年3月期の業績見通しにつきましては、売上高29,500百万円（前期比30.3%増）、営業利益600百万円（前期比45.1%増）、経常利益550百万円（前期比28.0%増）、当期純利益400百万円（前期比31.6%増）を見込んでおります。

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更

①連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、株式会社アドウェイズ・スタジオ、株式会社サムライベイビー及び亜堂科技（上海）有限公司を新規設立したことに伴い、連結の範囲に含めております。

当第2四半期連結会計期間においては、Bulbit株式会社を新規設立したため、連結の範囲に含めております。

②持分法適用の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、ライヴエイド株式会社の株式を新たに取得したことに伴い、持分法適用の範囲に含めております。

(3) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(4) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,982,171	4,531,913
売掛金	3,550,165	4,054,338
たな卸資産	6,184	3,164
その他	306,248	329,443
貸倒引当金	△35,243	△30,740
流動資産合計	7,809,526	8,888,120
固定資産		
有形固定資産	141,492	159,352
無形固定資産		
のれん	86,272	76,302
その他	39,242	78,364
無形固定資産合計	125,514	154,666
投資その他の資産		
その他	983,299	967,594
貸倒引当金	△35,144	△32,537
投資その他の資産合計	948,154	935,057
固定資産合計	1,215,162	1,249,076
資産合計	9,024,689	10,137,196
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,310,044	3,768,650
未払法人税等	152,914	290,318
その他	674,399	797,767
流動負債合計	4,137,359	4,856,737
固定負債		
その他	43,364	52,550
固定負債合計	43,364	52,550
負債合計	4,180,723	4,909,287
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,479,142	1,487,668
資本剰余金	1,664,201	1,662,384
利益剰余金	1,996,509	2,240,180
自己株式	△508,065	△488,422
株主資本合計	4,631,787	4,901,811
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	95,652	20,215
為替換算調整勘定	88,757	252,969
その他の包括利益累計額合計	184,409	273,184
新株予約権	8,888	28,610
少数株主持分	18,880	24,303
純資産合計	4,843,965	5,227,909
負債純資産合計	9,024,689	10,137,196

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	9,755,418	14,490,928
売上原価	8,003,429	11,924,066
売上総利益	1,751,988	2,566,861
販売費及び一般管理費	1,612,158	2,263,694
営業利益	139,830	303,167
営業外収益		
外国税還付金	59,075	12,028
補助金収入	1,930	5,586
その他	4,722	9,613
営業外収益合計	65,728	27,229
営業外費用		
為替差損	2,051	68,371
投資有価証券評価損	4,016	560
開業費償却	9,212	—
その他	1,316	5,108
営業外費用合計	16,596	74,040
経常利益	188,961	256,355
特別利益		
関係会社株式売却益	35,540	—
投資有価証券売却益	—	258,040
特別利益合計	35,540	258,040
特別損失		
固定資産売却損	65	—
投資有価証券評価損	9,421	3,993
減損損失	28,593	—
特別損失合計	38,079	3,993
税金等調整前四半期純利益	186,422	510,402
法人税、住民税及び事業税	84,717	283,694
法人税等調整額	38,292	△20,938
法人税等合計	123,010	262,755
少数株主損益調整前四半期純利益	63,412	247,646
少数株主利益	1,910	3,974
四半期純利益	61,502	243,671

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	63,412	247,646
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	154,157	△75,437
為替換算調整勘定	29,834	164,212
その他の包括利益合計	183,991	88,775
四半期包括利益	247,404	336,421
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	245,932	331,632
少数株主に係る四半期包括利益	1,471	4,789

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	186,422	510,402
減価償却費	40,192	46,243
開業費償却額	9,212	—
減損損失	28,593	—
のれん償却額	8,133	10,418
貸倒引当金の増減額(△は減少)	11,043	△10,869
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△4,486	—
受取利息及び受取配当金	△3,433	△2,949
固定資産売却損益(△は益)	65	—
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	13,437	△254,211
関係会社株式売却損益(△は益)	△35,540	—
売上債権の増減額(△は増加)	△466,760	△420,117
仕入債務の増減額(△は減少)	665,597	413,102
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	61,404	39,258
未払消費税等の増減額(△は減少)	△18,888	△10,419
その他	△77,229	156,175
小計	417,764	477,032
利息及び配当金の受取額	3,440	2,952
法人税等の支払額	△174,420	△140,097
営業活動によるキャッシュ・フロー	246,784	339,887
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△853,597	—
定期預金の払戻による収入	—	399,741
有形固定資産の取得による支出	△25,864	△56,127
有形固定資産の売却による収入	9	—
無形固定資産の取得による支出	△4,141	△44,874
投資有価証券の取得による支出	△20,319	△75,126
投資有価証券の売却による収入	—	297,373
子会社株式等の取得による支出	△139,195	△50,900
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△51,378	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	5,699	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	163,578	—
貸付けによる支出	△11,210	△3,750
貸付金の回収による収入	6,000	4,380
その他	△1,858	△4,349
投資活動によるキャッシュ・フロー	△932,279	466,367
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	26,352
自己株式の取得による支出	△229,227	—
配当金の支払額	△85,220	△225
その他	—	1,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△314,447	27,126
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,142	116,101
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△998,801	949,483
現金及び現金同等物の期首残高	3,195,835	2,724,948
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,197,034	3,674,431

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 3
	広告事業	アプリ・ メディア 事業	海外事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	8,204,379	732,330	813,582	9,750,293	5,124	9,755,418	—	9,755,418
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	18,213	13,534	8,950	40,698	5,484	46,183	△46,183	—
計	8,222,593	745,865	822,533	9,790,992	10,609	9,801,601	△46,183	9,755,418
セグメント利益 又は損失(△)	689,787	63,212	△94,219	658,780	△69,864	588,916	△449,085	139,830

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△449,085千円には、主にセグメント間取引消去△13,722千円、報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用435,363千円を含んでおります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

第2四半期連結累計期間に「アプリ・メディア事業」セグメントにおいて、のれんに係る減損損失を特別損失に28,593千円計上しております。当該のれんの減少額は、連結子会社株式の減損処理に伴って、のれんを一括償却したものであります。

(のれんの金額の重要な変動)

第2四半期連結累計期間に「海外事業」セグメントにおいて、JS ADWAYS MEDIA INC.の子会社化に伴い、のれんが78,851千円増加しております。

第2四半期連結累計期間に「アプリ・メディア事業」セグメントにおいて、株式会社アドウェイズ・エンタテイメントの連結除外に伴い、のれんが44,126千円減少しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 3
	広告事業	アプリ・ メディア 事業	海外事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	12,500,543	888,936	1,100,479	14,489,959	968	14,490,928	—	14,490,928
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	42,771	70,531	81,791	195,094	9,276	204,371	△204,371	—
計	12,543,315	959,468	1,182,270	14,685,054	10,245	14,695,299	△204,371	14,490,928
セグメント利益 又は損失 (△)	1,280,391	△220,512	△113,011	946,867	△84,535	862,332	△559,164	303,167

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△559,164千円には、主にセグメント間取引消去△83,916千円、報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用475,248千円を含んでおります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

新株予約権の発行及び行使による自己株式の処分

1. 新株予約権の発行

当社は、平成25年10月1日開催の取締役会決議に基づき、平成25年10月18日に行使価額修正条項付き第9回新株予約権（第三者割当て）を発行しております。

なお、同日付で当該新株予約権の発行価額の総額の払込が完了し、割当てを行っております。

行使価額修正条項付き第9回新株予約権（第三者割当て）の内容は、以下のとおりです。

新株予約権個数	38,540個
新株予約権の目的である株式の種類及び数	当社普通株式 3,854,000株
発行価額	新株予約権1個当たり760円（総額29,290,400円）
当該発行による潜在株式数	潜在株式数 3,854,000株 上限行使価額はありません。下限行使価額は553円ですが、下限行使価額においても、潜在株式数は3,854,000株です。
行使価額及び行使価額の修正条件	当初行使価額 790円 行使価額は、本新株予約権の各行使請求の効力発生日の直前取引日の当社普通株式の終値の90%に相当する金額に修正されますが、その価額が下限行使価額を下回る場合には、下限行使価額を修正後の行使価額とします。
行使期間	平成25年10月21日から平成27年10月20日
割当先	メリルリンチ日本証券株式会社
資金使途	①当社の海外進出先（台湾・タイ・インドネシアなど）におけるスマートフォン広告システムの企画、開発及び改修に伴う人件費及び外注加工費 ②当社の海外進出先（台湾・タイ・インドネシアなど）におけるスマートフォン広告事業に伴うマーケティング費、PR費及びサーバー費 ③日本国内及び海外を横断的に広告出稿が可能となるスマートフォン広告システムの企画、開発及び改修に伴う人件費及び外注加工費 ④日本国内及び海外を横断的に広告出稿が可能となるスマートフォン広告事業に伴うマーケティング費、PR費及びサーバー費 ⑤スマートフォン関連の新規サービスの企画及び開発に係る人件費、外注加工費、マーケティング費、PR費及びサーバー費 ⑥インドなどの海外進出に伴う企業買収資金

2. 新株予約権の行使による自己株式の処分及びその他資本剰余金の増加

平成25年10月31日までの間に、以下のとおり、行使価額修正条項付き第9回新株予約権のすべての権利行使が完了し、払込及び自己株式の処分が行われております。

行使年月日	交付株式数(株)		行使額面総額 (千円)
	新株	移転自己株式	
平成25年10月21日	-	1,320,000	2,079,000
平成25年10月22日	-	800,000	1,233,600
平成25年10月23日	-	34,000	57,222
平成25年10月24日	-	250,000	402,250
平成25年10月25日	-	1,450,000	2,306,950
合計	-	3,854,000	6,079,022

本件行使による株式の交付は、すべて自己株式の移転によって行われたため、本件による発行済株式総数の増加はありません。なお、自己株式の処分により、平成25年10月31日現在のその他資本剰余金は、5,619,890千円増加し、6,804,606千円となっております。